

～ 児童生徒の教育環境の充実を目指して ～

# 鹿沼市小中学校

## 適正配置等基本計画

### 【第3期実施プラン】

〔2022～2025〕

令和3年3月  
鹿沼市教育委員会

# 鹿沼市小中学校適正配置等基本計画第2期実施プラン

## 【第1部】 プランの概要

I	策定の経緯	1
II	鹿沼市の小中学校の現状	
1	児童・生徒数の現状と推移	2
2	学級数の現状と推移	3
III	適正配置等スケジュール	4

【第2部】	第3期実施プラン	5
-------	----------	---

# 【第1部】

## プランの概要

## I 策定の経緯

本市の小中学校適正配置については、近年の少子化の影響で、急激な児童生徒数と学級数の減少に伴い「学校の小規模化」が進行していることから、平成24年度にスタートした「鹿沼市教育ビジョン」において、本市における教育基盤の整備のひとつに位置付け検討を進めてきました。

その中で、「鹿沼市小中学校適正配置等検討委員会」から「鹿沼市立小中学校における適正配置等の基本的な考え方」の最終提言を受け、児童生徒にとってより良い教育環境を将来にわたって持続することが可能となるよう平成28年度から令和7年度（2025年度）までの10年間を計画期間として「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」を策定し、平成28年7月から取り組んできました。

### ●計画の構成イメージ



第1期、第2期実施プランの期間において、小学校3校を統合し適正配置を進めてきましたが、今後も小中学校の小規模化及び大規模化が継続することから、児童・生徒数や学級数の現状と推移を検証し、令和4年度から令和7年度の4年間を第3期実施プランの期間として、さらに検討していきます。

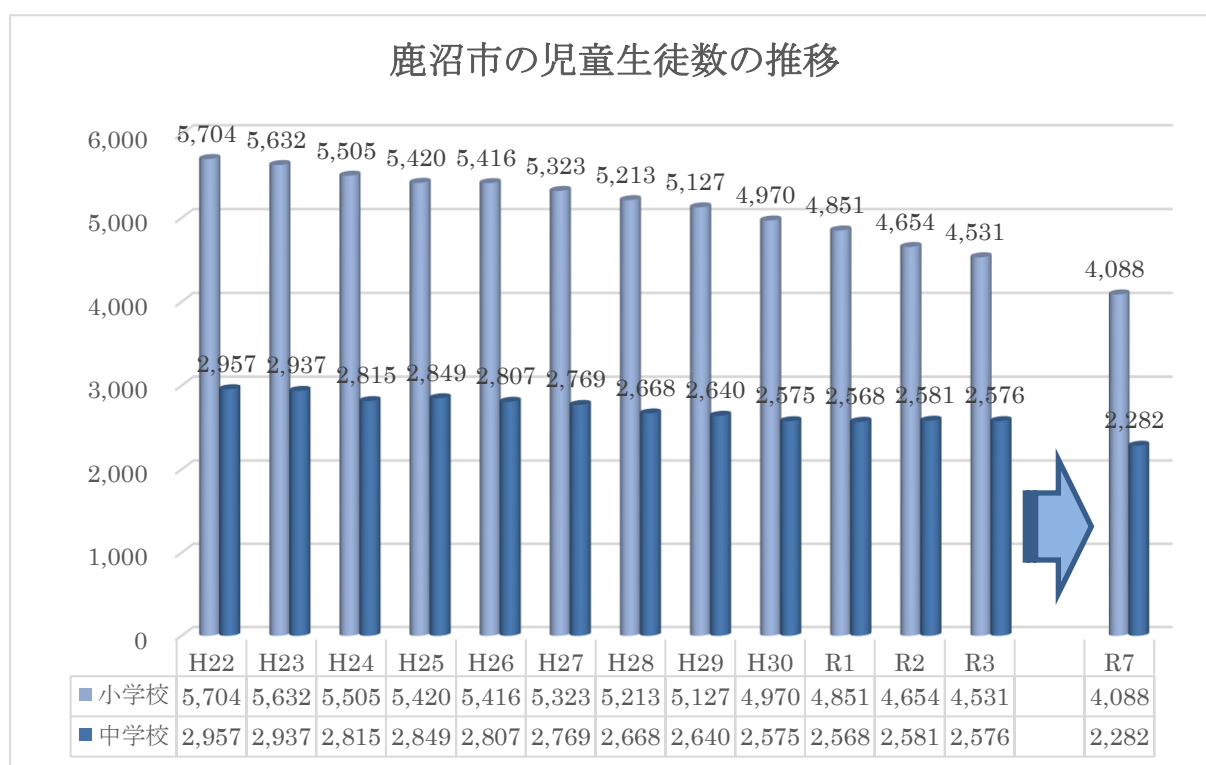


## Ⅱ 鹿沼市の小中学校の現状

### 1 児童・生徒数の現状と推移

本市の現在の小中学校数は、小学校 24 校、中学校 10 校の計 34 校であり、令和3年5月1日現在の小学校児童数は 4,531 人、中学校生徒は 2,576 人で合計 7,107 人となっています。

今後の児童生徒数を推計すると、令和 7 年度には、小学校児童数は 4,088 人、中学校生徒は 2,282 人合計 6,370 人になるものと予測され、令和3年度から7年度の減少率は、小学校 9.8%、中学校 11.4%と見込まれます。



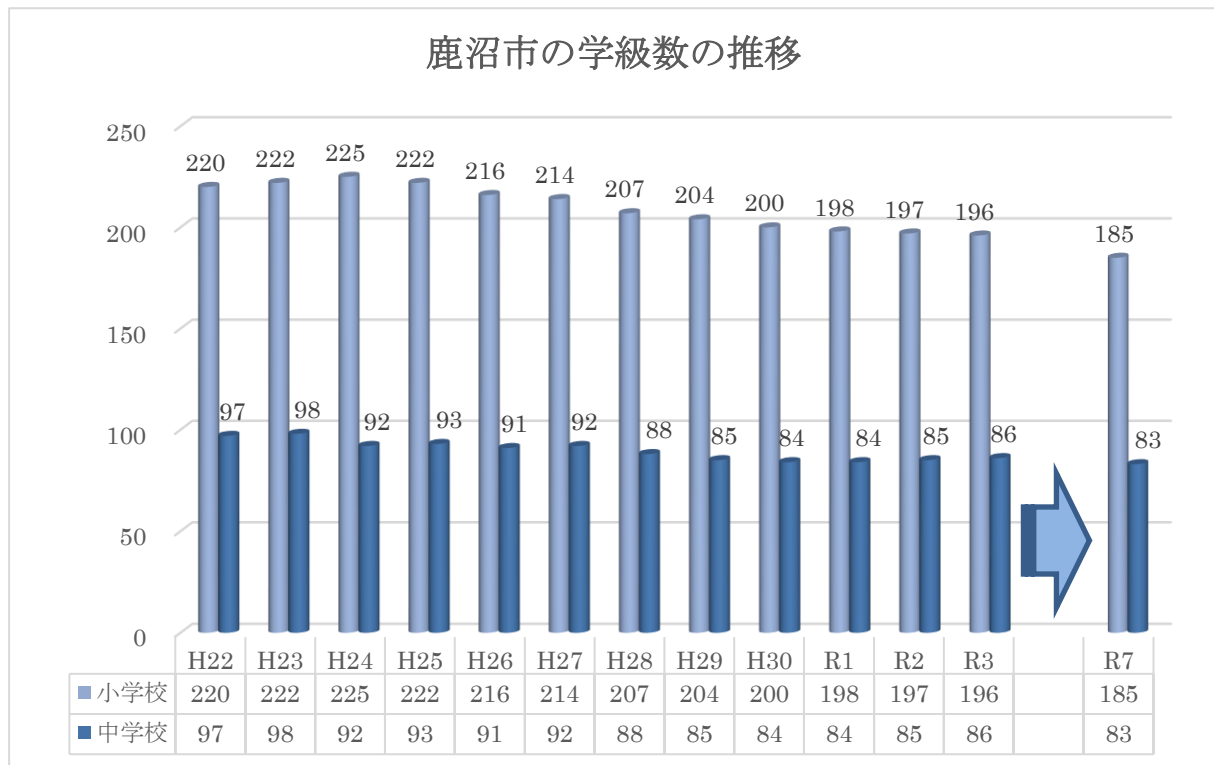
※全児童生徒数（特別支援学級児童生徒数含む）



## 2 学級数の現状と推移

本市の令和3年5月1日現在の特別支援学級を除く普通学級数は、小学校で196学級、中学校で86学級の合計282学級となっており、小学校24校中33.3%に当たる8校が「複式学級を有する学校」という状況です。

今後の学級数を推計すると、児童生徒数の傾向と同様に、令和7年度には、小学校は185学級、中学校は83学級、合計268学級になるものと予測され、令和3年度から7年度の減少率は、小学校5.6%、中学校3.4%と見込まれます。



※学級数は特別支援学級を除く普通学級数

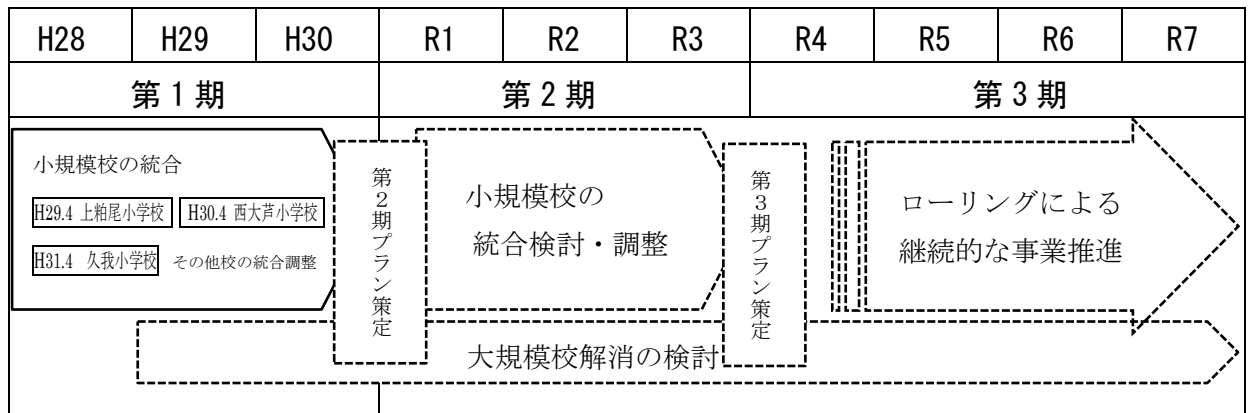
### ◆学級数による学校規模の分類

(R3.5.1 現在)

	小学校	中学校
小規模校	池ノ森小、上南摩小、南押原小 清洲第1小、清洲第2小、永野小、粕尾小、	加蘇中、板荷中、 南摩中
適正規模校	中央小、西小、北小、菊沢東小、菊沢西小、 石川小、津田小、さつきが丘小 みどりが丘小、北押原小、加園小、板荷小、 南摩小、榆木小、みなみ小、栗野小	西中、北中、北犬飼中、 北押原中、南押原中、 栗野中
大規模校	東小	東中

## Ⅲ 適正配置等スケジュール

### ●スケジュール



※ 各期の期間については、おおむね3年間を目安とする。

○本計画期間は、平成28年度から30年度までを第1期、令和元年度から3年（2021）度までを第2期、令和4（2022）年度～7年（2025）度を第3期として適正配置を図っていきます。

第1期	上粕尾小学校・西大芦小学校・久我小学校の統合 その他校の統合調整、大規模校解消の検討
第2期	池ノ森小学校、上南摩小学校の統合 清洲第1小学校、清洲第2小学校ほか小規模校の統合検討・調整 大規模校解消の検討
第3期	池ノ森小学校、上南摩小学校、清洲第1小学校、清洲第2小学校 の統合 その他小規模校の統合検討・調整 大規模校解消の検討

○本市の児童生徒数の将来予測は、今後も減少傾向にあると考え、出生児の推移を十分見極める必要性があり、継続的にその動向等を検証しながら、その中で社会情勢の急激な変化や法令改正等が生じた場合には、適宜計画の見直しを行うものとしてます。

## 【第2部】

### 第3期実施プラン



## 【 上南摩小学校 】

## 1 校区の概要

上南摩地区は鹿沼市の西北部に位置し、旧南摩村北部の山と川と緑の自然に恵まれた南摩川の上流部にあたる。

本校の就学区域は、上南摩町、旭が丘であり、上南摩町の館の越地区に位置する。

(所在地：上南摩町732番地)

近年は、児童数が減少し、複式学級が継続しており、本市の中でも小規模な小学校の一つとなっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29 (2017)	児童数	4	1	2	6	2	9	24
	学級数	1		1		1		3
H30	児童数	1	3	1	2	6	2	15
	学級数	1		1		1		3
R1	児童数	2	1	3	1	2	6	15
	学級数	1		1		1		3
R2	児童数	4	2	1	3	1	2	13
	学級数	1		1		1		3
R3	児童数	3	4	2	1	3	1	14
	学級数	1		1		1		3
R4	児童数	4	3	4	2	1	3	17
	学級数	1		1		1		3
R5	児童数	5	4	3	4	2	1	19
	学級数	1	1	1		1		4
R6	児童数	0	5	4	3	4	2	18
	学級数	0	1	1		1		3
R7	児童数	2	0	5	4	3	4	18
	学級数	1	0	1		1		3
R8	児童数	5	2	0	5	4	3	19
	学級数	1		0	1	1		3
R9 (2027)	児童数	2	5	2	0	5	4	18
	学級数	1		1	0	1		3

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期、第2期実施プランが終了し、第3期実施プランを策定するにあたり、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定。

- ⇒ 意見交換会の開催（第1回 H29.11.17）
- ⇒ 意見交換会の開催（第2回 R1.11.12）
- ⇒ 意見交換会の開催（第3回 R2.9.25）

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 令和3年度児童数14人、学級数3という状況であり、今後も児童の増加が見込めないため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有
- ・適正配置に関する方針説明及び関係者の同意

## 【 池ノ森小学校 】

## 1 校区の概要

池ノ森地区は鹿沼市南東部の池ノ森地区に位置し、壬生町に隣接している。  
本校の就学区域は、池ノ森であり、池ノ森の山王前地区に位置する。

(所在地：池ノ森757番地1)

近年は、児童数が減少し、複式学級が継続しており、本市の中でも小規模な小学校の一つとなっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29 (2017)	児童数	3	3	3	3	3	4	19
	学級数	1		1		1		3
H30	児童数	3	3	3	3	3	3	18
	学級数	1		1		1		3
R1	児童数	5	3	3	3	2	3	19
	学級数	1		1		1		3
R2	児童数	4	5	3	3	3	2	20
	学級数	1	1	1		1		4
R3	児童数	7	4	5	3	3	3	25
	学級数	1	1	1		1		4
R4	児童数	1	7	4	5	3	3	23
	学級数	1		1		1		3
R5	児童数	1	1	7	4	5	3	21
	学級数	1		1		1		3
R6	児童数	6	1	1	7	4	5	24
	学級数	1		1		1		3
R7	児童数	0	6	1	1	7	4	19
	学級数	1		1		1		3
R8	児童数	4	0	6	1	1	7	19
	学級数	1		1		1		3
R9 (2027)	児童数	1	4	0	6	1	1	13
	学級数	1		1		1		3

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期第2期実施プランが終了し、第3期実施プランを策定するにあたり、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定。

⇒ 意見交換会の開催（第1回H29.11.24）

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 令和3年度児童数25人、学級数4という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有
- ・適正配置に関する方針説明及び関係者の同意

## 【 清洲第1小学校 】

## 1 校区の概要

清洲区は鹿沼市の南西部に位置し、自然に恵まれた農村地帯にあり、近くに思川が流れている。

本校の就学区域は、久野、深程であり、久野の下坪地区に位置する。

(所在地：久野620番地1)

近年は、児童数が急激に減少し、複式学級が継続しており、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29 (2017)	児童数	6	5	6	10	5	18	50
	学級数	1		1		1	1	4
H30	児童数	1	6	5	6	10	5	33
	学級数		1		1		1	3
R1	児童数	8	1	6	5	6	10	36
	学級数	1	1		1		1	4
R2	児童数	5	8	1	6	5	6	31
	学級数	1	1		1		1	4
R3	児童数	5	5	8	1	6	5	30
	学級数	1	1		1		1	4
R4	児童数	8	5	5	8	1	6	33
	学級数	1	1		1		1	4
R5	児童数	5	8	5	5	8	1	32
	学級数	1	1		1		1	4
R6	児童数	5	5	8	5	5	8	36
	学級数	1	1		1		1	4
R7	児童数	3	5	5	8	5	5	31
	学級数		1		1		1	3
R8	児童数	5	3	5	5	8	5	31
	学級数		1		1		1	3
R9 (2027)	児童数	3	5	3	5	5	8	29
	学級数		1		1		1	3

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期、第2期実施プランが終了するが、児童数が、鹿沼市の適正規模を下回っており、今後も児童数の増加が見込めないため、第3期実施プラン期間内に、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定する予定。

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 令和3年度児童数30人、学級数4という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有
- ・適正配置に関する方針説明及び関係者の同意

## 【 清洲第2小学校 】

## 1 校区の概要

清洲区は鹿沼市の南西部に位置し、自然に恵まれた農村地帯にあり、近くに思川が流れている。

本校の就学区域は、北半田であり、北半田の中新田地区に位置する。

(所在地：北半田1515番地)

近年は、児童数が年々減少し、複式学級が継続するようになり、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29 (2017)	児童数	2	9	6	8	10	9	44
	学級数	1		1	1	1	1	5
H30	児童数	9	2	9	6	8	10	44
	学級数	1		1		1	1	4
R1	児童数	3	10	2	9	6	8	38
	学級数	1	1		1		1	4
R2	児童数	6	3	10	3	9	6	37
	学級数	1	1		1		1	4
R3	児童数	7	6	3	10	3	10	39
	学級数	1	1		1		1	4
R4	児童数	7	7	6	3	10	3	36
	学級数	1	1		1		1	4
R5	児童数	7	7	7	6	3	10	40
	学級数	1	1		1		1	4
R6	児童数	7	7	7	7	6	3	37
	学級数	1	1		1		1	4
R7	児童数	7	7	7	7	7	6	41
	学級数	1	1		1		1	4
R8	児童数	4	7	7	7	7	7	39
	学級数	1	1		1		1	4
R9 (2027)	児童数	3	4	7	7	7	7	35
	学級数		1		1		1	3

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期、第2期実施プランが終了するが、児童数が、鹿沼市の適正規模を下回っており、今後も児童数の増加が見込めないため、第3期実施プラン期間内に、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定する予定。

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 令和3年度児童数39人、学級数4という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有
- ・適正配置に関する方針説明及び関係者の同意



## 【 南押原小学校 】

## 1 校区の概要

南押原区は鹿沼市の南部に位置し、自然に恵まれた農村地帯にあり、近くに黒川が流れている。

本校の就学区域は、磯町、野沢町、亀和田町、北赤塚町であり、磯町の台坪地区に位置する。

(所在地：磯町117番地)

近年は、児童数が年々減少し、複式学級が継続するようになり、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29 (2017)	児童数	5	10	11	11	14	10	61
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
H30	児童数	8	5	10	11	11	14	59
	学級数	1		1	1	1	1	5
R1	児童数	6	8	5	10	11	11	51
	学級数	1		1	1	1	1	5
R2	児童数	6	6	8	5	10	11	46
	学級数	1	1		1		1	4
R3	児童数	7	6	5	8	5	10	41
	学級数	1	1		1		1	4
R4	児童数	5	7	6	5	8	5	36
	学級数	1	1		1		1	4
R5	児童数	6	5	7	6	5	8	37
	学級数	1	1		1		1	4
R6	児童数	7	6	5	7	6	5	36
	学級数	1	1		1		1	4
R7	児童数	9	7	6	5	7	6	40
	学級数	1	1		1		1	4
R8	児童数	4	9	7	6	5	7	38
	学級数	1	1		1		1	4
R9 (2027)	児童数	3	4	9	7	6	5	34
	学級数		1		1		1	3

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期、第2期実施プランが終了するが、児童数が、鹿沼市の適正規模を下回っており、今後も児童数の増加が見込めないため、第3期実施プラン期間内に、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定する予定。

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 令和3年度児童数 41 人、学級数4（連続した学年ではなく、飛び学年で複式学級を編成する。）という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有

## 【 永野小学校 】

## 1 校区の概要

永野区は鹿沼市の南西部に位置し、自然に恵まれた農村地帯にあり、近くに永野川が流れている。

本校の就学区域は、下永野、上永野であり、上永野の沢坪地区に位置する。

(所在地：上永野310番地)

近年は、児童数が年々減少し、複式学級が継続するようになり、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29 (2017)	児童数	8	4	4	3	3	6	28
	学級数	1		1		1	1	4
H30	児童数	3	8	3	4	3	3	24
	学級数	1		1		1	1	4
R1	児童数	0	3	7	3	4	3	20
	学級数	0		1		1	1	3
R2	児童数	4	0	3	7	3	4	21
	学級数	1	0		1		1	3
R3	児童数	2	5	0	3	7	3	20
	学級数		1	0	1		1	3
R4	児童数	7	2	5	0	3	7	24
	学級数	1		1	0		1	3
R5	児童数	3	7	2	5	0	3	20
	学級数	1		1	1	0	1	4
R6	児童数	4	3	7	2	5	0	21
	学級数	1		1		1	0	3
R7	児童数	5	4	3	7	2	5	26
	学級数	1	1		1		1	4
R8	児童数	6	5	4	3	7	2	27
	学級数	1	1		1		1	4
R9 (2027)	児童数	6	6	5	4	3	7	31
	学級数	1	1		1		1	4

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期、第2期実施プランが終了するが、児童数が、鹿沼市の適正規模を下回っており、今後も児童数の増加が見込めないため、第3期実施プラン期間内に、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定する予定。

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 令和3年度児童数 20 人、学級数 3（連続した学年ではなく、飛び学年で複式学級を編成する。）という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有

## 【 粕尾小学校 】

## 1 校区の概要

粕尾区は鹿沼市の西部に位置し、自然に恵まれた農村地帯にあり、近くに思川が流れている。

本校の就学区域は、下粕尾、中粕尾、上粕尾であり、下粕尾の大越路地区に位置する。

(所在地：下粕尾1444番地1)

近年は、児童数が年々減少し、複式学級が継続するようになり、小規模な小学校となっている。

## ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29 (2017)	児童数	2	9	2	14	7	8	42
	学級数	1		1	1		1	4
H30	児童数	7	2	9	2	14	7	41
	学級数		1		1	1	1	4
R1	児童数	3	7	2	8	2	14	36
	学級数	1		1		1	1	4
R2	児童数	3	3	7	2	9	2	26
	学級数		1		1		1	3
R3	児童数	9	3	3	7	2	9	33
	学級数	1	1		1		1	4
R4	児童数	5	9	3	3	7	2	29
	学級数	1	1		1		1	4
R5	児童数	9	5	9	3	3	7	36
	学級数	1	1		1		1	4
R6	児童数	3	9	5	9	3	3	32
	学級数	1	1		1		1	4
R7	児童数	11	3	9	5	9	3	40
	学級数	1	1		1		1	4
R8	児童数	1	11	3	9	5	9	38
	学級数	1	1		1		1	4
R9 (2027)	児童数	6	1	11	3	9	5	35
	学級数		1		1		1	3

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 2 適正配置の検討経過

「鹿沼市小中学校適正配置等基本計画」の第1期、第2期実施プランが終了するが、児童数が、鹿沼市の適正規模を下回っており、今後も児童数の増加が見込めないため、第3期実施プラン期間内に、保護者及び地域関係者と意見を聴取する場を設定する予定。

## 3 適正配置の検討

児童数の減少が進み、複式学級となっており、鹿沼市の適正規模を下回っています。今後の児童数の推移を踏まえ、教育上の課題を整理したうえで、慎重な検討と地域との丁寧な対応を持ち、隣接校との統合の適否も含めた今後の在り方を検討します。

## 4 適正配置検討の理由

- ① 令和3年度児童数 33 人、学級数4という状況であり、今後も複式学級の状況が継続するため
- ② 児童の教育条件の改善など、教育環境充実のため
- ③ 学校行事等に関する保護者の負担軽減のため
- ④ 学校運営に支障があるため

## 5 適正配置に関する進め方

### ○地元・学校（保護者含む）

- ・市教委主催の意見交換会への参加
- ・地域としての考え方の整理・集約

### ○市教委

- ・適正配置の検討をするための保護者及び地域住民への意見交換会開催
- ・児童数の将来予測等の情報提供
- ・隣接校への状況説明等情報共有

## 【 大規模校解消の検討 】

### 1 現状

本市の適正規模の考え方を踏まえると、令和3年5月1日現在における大規模校は以下のとおり。

区分	学校名
小学校	東小学校（24）
中学校	東中学校（25）

※（ ）内は普通学級数

### 2 将来予測

#### 東小学校

東小学校について、児童数・学級数とも令和5年度にピークを迎え、その後、減少傾向が見られ、適正規模をやや上回る状態が続くと予測される。

#### ○児童数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R3 (2021)	児童数	123	117	148	127	105	128	748
	学級数	4	4	5	4	3	4	24
R4	児童数	131	123	117	148	127	105	751
	学級数	4	4	4	5	4	3	24
R5	児童数	124	131	123	117	148	127	770
	学級数	4	4	4	4	5	4	25
R6	児童数	113	124	131	123	117	148	756
	学級数	4	4	4	4	4	5	25
R7	児童数	113	113	124	131	123	117	721
	学級数	4	4	4	4	4	4	24
R8	児童数	118	113	113	124	131	123	722
	学級数	4	4	4	4	4	4	24
R9 (2027)	児童数	91	118	113	113	124	131	690
	学級数	3	4	4	4	4	4	23

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実児童数及び学級数

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載

## 東中学校

東中学校について、生徒数・学級数とも令和4年度にピークを迎え、その後、急速な減少傾向が見られ、適正規模をやや上回る状態が続くと予測される。

## ○生徒数及び学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	計
R3 (2021)	生徒数	300	285	280	865
	学級数	9	8	8	25
R4	生徒数	292	300	285	877
	学級数	9	9	8	26
R5	生徒数	240	292	300	832
	学級数	7	9	9	25
R6	生徒数	249	240	292	781
	学級数	8	7	9	24
R7	生徒数	293	249	240	782
	学級数	9	8	7	24
R8	生徒数	261	293	249	803
	学級数	8	9	8	25
R9	生徒数	239	261	293	793
	学級数	7	8	9	24
R10	生徒数	263	239	261	763
	学級数	8	7	8	23
R11	生徒数	259	263	239	761
	学級数	8	8	7	23
R12	生徒数	209	259	263	731
	学級数	6	8	8	22
R13	生徒数	228	209	259	696
	学級数	7	6	8	21
R14	生徒数	215	228	209	652
	学級数	7	7	6	20
R15 (2033)	生徒数	193	215	228	636
	学級数	6	7	7	20

※令和3年度までは、各年度とも5月1日現在の実生徒数及び学級数（特別支援を除く。）

※令和4年度以降は令和3年5月1日現在の住民基本台帳登録人口（年齢別）に基づき社会増減を含めず記載



## 検討スケジュール

大規模校の解消については、第1部 プランの概要の中で述べたとおり、児童・生徒数の将来予測や今後の社会情勢の変化など様々な要件を勘案するとともに、地域の将来的展望に立ち、新設もしくは学区の再編も含め、本計画期間内で検討していきます。



鹿沼市小中学校適正配置等基本計画 第3期実施プラン

鹿沼市教育委員会事務局 学校教育課

〒322-0064 栃木県鹿沼市文化橋町 1982-18 情報センター4階

TEL:0289-63-2239 / FAX:0289-63-2118

E-mail: kyoiku@city.kanuma.lg.jp

ホームページ <http://www.city.kanuma.tochigi.jp>